

AMUSEMENT SQUARE stage



さあ、9月。何か面白いことないかなという人は、9月21日(金)から30日(日)までの10日間、八戸市美術館を中心に開催される「タイムラグ・ラグタイム展」に注目。

ところで「タイムラグ・ラグタイム展」って何？

それは、写真によるメディア・アート・シヨウです。

写真と他のメディア、例えば、詩、ビデオアート、演劇、映画、建築、インターネット、CD-ROMアート、音楽などとの出会いによ

「カピバラ」に出演する、ニコル・ホルト
横田由貴子
山内雅一

ICANOF
「タイムラグ
・ラグタイム展」
プログラム詳細は

→P26



って新たな面白さを発見しようという試みです。今年発足した市民ボランティアによるアート・サポート・チームICANOF主催のプロジェクト第一弾。それぞれの分野で活躍しているアーティストや詩人、写真家、批評家がたくさん八戸にやって来て、様々なメディア・アートを展開します。

メイン・プログラムのご紹介・その1。たくさんあるプログラムの中で、もっともエキサイティングな企画になりそうなのが吉増剛造、港千尋、金村修の三氏によるワークシヨップ。日本現代詩の第一人者である吉増剛造氏は、二重露光写真やボラロイド写真の作品でも知られ、詩人ならではの感性

ある写真を発表している。港千尋氏は、サントリー学芸賞受賞者であり、『考える皮膚』『記憶』『遠心力』などの様々なテーマの本を著している世界を駆け巡る写真家。金村修氏は、土門拳賞受賞者であり、1996年ニューヨーク近代美術館企画展で「世界の注目される写真家6人」にも選出され、独自のモノクロ写真を撮り続けている、今最も注目されている若手写真家。ワークシヨップは、この三氏と一緒に写真を撮るとい、めったにないチャンス。単に展示された作品を見るだけとは違い、「その時」「その場所」を共有した者でしか味わえない発見がきっとあるだろう。只今、参加者募集中。

メイン・プログラムのご紹介・その2。そして、もう一つのおすめは、メディア・アート・シヨウ「カピバラ」公演。日本だけではなく、フランス、ドイツ、オーストラリア、韓国など海外公演も数多いモレキュラー・シアターによる新作が、ダンス・パレエ・リセで9月22日(土)から合計6回上演される。S・ベケットや日本の詩人数人の作品をテキストとして構成される今回の公演は、出演者もダンスアーティスト、メディアアーティスト、フォトグラフィ、DJなど様々な分野の人たちなので新たな展開が期待できる。写真と演劇、そして詩とネット・イメージの出会いによって、きつとワクワクするようなメディア・

新たな自分との
出会いのチャンス

〈文／亀本光弘 (ICANOFアート・ディレクター)〉

演劇空間スペースベン

アートが出現するでしょう。その他、美術館ではロバート・フランクのビデオ上映、いくつかのスライド・シヨウやトーク・セッションが、またスペースBENでは、佐藤真監督の新作映画の上映などが予定されている。

この企画展は言わばメディアアートの出会いがもうひとつのテーマでもある。それは、作品との出会いと一言だけではなく、人との出会いであり、出来事との出会いであり、そして何よりも

新たな自分との出会いである。「タイムラグ・ラグタイム展」は、「モノ」ではなく「コト」との出会いの場なのです。

アクセス：ワークショップ参加希望またはプログラムの詳細は下記まで。
ホームページアドレス
<http://homepage2.nifty.com/icanof/>
<http://www.hi-net.ne.jp/icanof>
Tel.090-2998-0224
Tel&Fax.0178-45-9247 (ICANOF事務局)

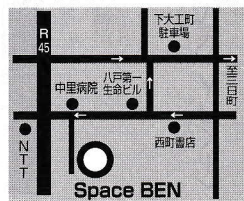
9月のFriday Amusement Negative Shop

■9月7日 396回
安達良春プラスワンシアター
■9月14日 397回 未定
■9月21日 398回 未定
■9月28日 399回 未定

□特別企画イカノフ上映会
佐藤真監督「SELF AND OTHERS」

9月21日(金) 3:30 pm～
22日(土) 0:00 pm～
23日(日) 2:30 pm～
24日(祝) 0:00 pm～
※料金700円

※午後7時30分～、料金500円
チケットはスペースベンにて販売



駐車場はございませんので、車のご来場はご遠慮下さい。
(近くに西町書店駐車場有り)

☎ スペースベン
八戸市柏崎1-11-8
☎ FAX 43-9876

FANSでは、脚本を広く募集しています。何か表現したくても踏み出せないあなた、一度「物語」を書いてみませんか？ FANSでは、そんな方の思いを大切にして舞台にのせてみたいと思っています。

☎ スペースベンHPアドレス <http://spaceben.com/>
Eメールアドレス fans@spaceben.com